

<様式1>

令和2年度 さいたま市立東大成小学校 自己評価書

校長 島田 彰 印

1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- ・学校教育目標「ゆたかな子 たくましい子 かしこい子」の達成状況を確認する内容
- ・目指す学校像「どの子にとっても潤いのある楽しい学校」「保護者だれもがまかせて安心な学校」「職員みながやりがいっぱいの学校」の達成状況を確認する内容
- ・教員の指導法や子ども達の学習状況、基礎・基本の定着具合を確認する内容
- ・児童の悩みやトラブルなどが起きた時、迅速に対応できているかどうかを確認する内容
- ・児童が目標に向かって何事にも積極的に取り組んでいるかを確認する内容
- ・安全でおいしい給食を提供できているかどうかを確認する内容
- ・校内環境に関する内容
- ・学校と地域が連携して教育活動に取り組むことができているかを確認する内容

2 評価結果について

- ・学校教育目標、目指す学校像を意識した取組については、学校・保護者・児童ともに9割以上の肯定的な評価が得られた。
- ・学習面においては、おおむね肯定的な評価が得られているが、教員が思う児童の基礎・基本の定着に対する達成度合と児童・保護者が感じている達成度合とに少しギャップが生じた。
- ・児童の悩みやトラブルなどが起きた時、迅速に対応できているかを問う項目については、児童の定的な割合が昨年度より高まった。
- ・児童の安全に対する意識を問う項目については、教職員、保護者、児童ともに肯定的な割合が昨年度より高まった。
- ・児童が夢や目標に向かって取り組んでいるかを問う項目については、教職員、保護者の肯定的な回答の割合が少し下回った。
- ・児童の外遊び・健康づくりへの意識は、教職員と児童が感じている達成度合にギャップが生じた。教職員は肯定的な割合が高いのに対して児童は肯定的な割合が低かった。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・例年、課題の一つとして基礎学力の定着を挙げてきた。前年度より週に1回行ってきた朝の基礎学力タイムを来年度も継続することで基礎・基本の定着を図ることにつなげていく。
- ・朝の登校や日頃の学校生活の様子を見てみると、安全に関する意識に対して個人差があるように感じる。今後も、教職員全体で共通理解の上、生徒指導部、安全部の連携のもと、学級指導等を継続し、安全に関する意識を高めていく。
- ・児童に夢や目標をもたせるために、学校だけでなく、家庭や地域が同じベクトルを向いて子ども達に接することができるようにしていく。そのために、引き続き、学校からの手紙、学校ホームページ、学校公開、学級懇談会、様々な学校行事等を通し、連携を強化していく。
- ・学校の中で、体力向上を意識したフレッシュタイムや体力アップキャンペーンを実施したりロング昼休みを活用したクラス遊びや縦割り活動を実施したりすることで、外遊びができる場を設定していく。また、教職員や児童の健康づくりへの意識を高めるために、来年度の学校課題研修を「体力向上」とし、中学校とも連携しながら全教職員で取り組んでいく。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。